

入院して体外衝撃波結石破碎術を受けられる方へ

様 手術日 月 日

	手術前日 (/)	手術当日 (/)			手術後1日目
		術前	術中	術後	(/)
目標	①手術について理解することができる ②排石を促すことができる				
医師・看護師からの説明・指導	・入院、手術についての説明があります。同意されれば、入院治療計画書・手術承諾書にサインをして看護師に提出して下さい。		・痛みがあれば、申し出て下さい。	・痛みや血尿、心配なことがありましたら看護師に申し出て下さい。	・退院し、外来で経過を観察します。
手術の説明	・体外衝撃波結石破碎術とは、体の外から結石に対して衝撃波を当て、砂状に細かく砕く治療法です。 ・砂状となった結石は、尿とともに体の外に排泄されます。 ・治療は麻酔なしで行われ、多くは1時間ぐらいで終わります。副作用や後遺症は、ほとんどありません。 ・レントゲン室で手術を行います。結石が大きい場合は、再治療となります。				
食事	・特に制限はありません。 ・糖尿病などの持病のある方は治療食となります 	・朝食後、絶食です。 ・水分は1000ml前後飲んで下さい。		・帰宅後より水分が飲めます。 ・夕食より食事が出ます。 ・水分を500ml以上とって下さい。	・特に制限はありません。 ・水分は1日1000ml以上とって下さい。
清潔	・入浴できます。	・入浴しないで下さい。			・入浴できます。
安静	・病院内は自由です。	・筋肉注射後は、ベッド上で安静にしてください。 ・車椅子でレントゲン室へ行きます。	・医師、看護師が説明する体位です。 (あお向け又は腹ばい)	・車椅子でお部屋へ戻ります ・その後病院内の歩行は自由です。	・病院内の歩行は自由です。
検査	・血液、レントゲン検査があります。				・手術1日目にも碎石の経過をみるためにお腹のレントゲン検査があります。
内服・注射処置	・21時に下剤を飲んでいただきます。	・体温・脈・血圧を測ります。 ・午前中から点滴を始めます。 ・入室前に筋肉注射をします	・腹部をベルトで固定します ・背中(腹部)にゼリー状のものをつけます。 ・手術中に異常がないか知るためのモニターをつけます ・10分毎に血圧や脈を測定します。	・終了後、背中(腹部)を蒸しタオルで拭きます。 ・体温、脈、血圧を測ります。 ・点滴終了後、針は抜きます。	
排泄			・指示のある方にはトイレに袋が準備してあります。その中へ尿を入れてください。集積用網に排石があれば申し出て下さい。		
喫煙	手術後の感染予防と肺炎予防のために、入院が決まったその日から禁煙をお願いします。				
費用	保険の種類により異なりますので、医事職員にお尋ねください。				
退院後の生活	・血尿の続くことがあります。ただし①血尿が濃くなる時②発熱時③痛みが強ときは、外来へ連絡ください。 ・日常生活に特に制限はありませんが、水分を1日1000ml以上とりましょう。 ・排石があり、採取できれば、次回受診日に持参してください。 ・心配なことがあれば、日中は泌尿器科外来、夜間は救急外来へご相談ください。				

